



編者：滝沢市国際交流協会 Tel：019-643-6591、E-mail：[yokakokk@poplar.ocn.ne.jp](mailto:yokakokk@poplar.ocn.ne.jp)

Home page：<https://takizawaicc.wixsite.com/takizawashi-kokusai> No.4 2018年 8月 10日発行

## 国際交流フェスティバル in TAKIZAWA

### 一緒に世界を楽しもう！

2018年、当協会も皆様の温かい支援に支えられながら2年目を迎え、国際交流フェスティバルも2回目となりました。

国際交流フェスティバルは、外国の音楽、踊り、料理、遊び等を通じて、外国の方々と交流を深めることで、これから益々進むであろう多文化共生社会に対する理解を深めることを目的として開催されています。今回は2回目ということで、前回より少し内容を充実させるため、昨年と違う国の方の参加も予定し、さらなる交流を広げる場となるかと思えます。



2018年9月9日(日)、滝沢ふるさと交流館で、メイン会場となるホールではステージにて外国の歌、踊り等を披露する予定です。また、同ホールでは国の紹介ブースもあり、それぞれの国の文化を垣間見れる民芸品等の展示があります。学習室ではリレートーク形式で外国の方から少し詳しく日常生活、文化、習慣等について、ガイドブック

にないお話しを聞くことが出来るでしょう。

調理室ではメキシコ人によるタコスやこの辺ではめったに味わえないメキシコ料理を作る予定で、メキシコを感じ取ることが出来るかも知れません。集会室では外国の衣装の展示、試着コーナーがありあなたが思いを寄せる国の人になれるかもしれません。他にも、スタンプラリー、キッズコーナー、物販等もあります。

今回の国際交流フェスティバルでは、外国の文化習慣に少しでも接することで、また英語、中国語、韓国語、スペイン語等言葉を話せなくても、相互の文化を知ることで、市民の中で国籍は違えども普通に声を掛けあえる関係を作るきっかけとなるのではないかと思います。是非とも新たなる一步を踏み出し、新たなる自分自身の発見を楽しみにいらしてください。



国際交流フェスティバル in TAKIZAWA  
実行委員長 笹渡 匡

## 意見を発表する、自分のことは自分で決める

### — ニュージーランドの学校教育 —



ニュージーランドでは5歳の誕生日を過ぎると小学校に入学します。生徒が個別に入学するため一斉入学式はありません。ニュージーランドでは行政改革を経て、教育関連組織を国（教育省）と学校（学校理事会）のみとしました。当然、国は教育の質的補償をするために十分な教育システムを提供します。あとは現場である学校が教育を担います。学校現場とは誰かということ、実質的にクラスルームの担任です。担任の裁量権が大きく、これは学びの主体者である子供たち自らの権限が大きいということに繋がっています。教育の中間組織、指定教科書、指導教科書、指導要領、それから職員室もない「教育改革先進国」なのです。

小学校の現場である教室では、意見を発表する、自分のことは自分で決めるということが大切にされます。5～13歳の初等教育で学ぶことは「Self-managed Learning（学びの自己構築力）」だけでも過言ではありません。教科主義、知識の詰め込み、他人との競争環境は殆どなく、自分のペースで自分の興味関心を起点とした学びの環境が提供されます。

個々の生徒は、学業の成績だけでなく文化活動、スポーツと並行して、日頃の小さな活動、例えば、落ちていたゴミを拾ったなどの普通の行為も評価・表彰の対象とされます。つまり勉強（アカデミック）だけが評価軸ではないのです。事実、毎月開催される全校集会で表彰される生徒のうれしそうに輝く顔に、この国の教育のすばらしさを思わずにられません（写真参照）。

続いて、13～15歳（日本の中学2、3年相当）でキャリア教育が始まります。この時点から、将来何に関わりたいのか？何の仕事をするのか？という自己キャリア意識を徐々に形成して

いきます。さらに、16～18歳の高校相当ではほぼ選択科目となり、それにそって学習内容が分岐していきます。ニュージーランドでは中学・高校の一斉入学試験はありません。

大学進学も一斉受験制度はありません。そもそも目的意識の低い「とりあえず大学」へという感覚を持つ日本とは大きく異なっています。ニュージーランドでは、大学進学に必要な経費は本人が自分で工面するが常識であり、親は一切の経済的支援をしないのが多数派です。18歳を過ぎて進学する場合は、学費はスチューデントローンで工面し、基本生活費は国から支給されるという仕組みが整っています。ですから、進学する本人が、そこまでして大学で何を学ぶかということをして17歳、18歳で突きつけられる訳です。逆を言えば、大学は、働いてからでも、子育てが始まってからでも、勉学に取り組みたくなった時に、あるいは勉学が必要になった時に“いつでも”行ける仕組みとなっています。大学進学率という言葉さえニュージーランドでは死語であり、自分のライフステージに合わせて高等教育進学が出来る社会と言えます。



毎週のように小学生たちが全校集会で表彰される。

クライストチャーチ教育協議会  
日本代表 及川孝信



## ニュージーランドスタイル 授業体験の報告

滝沢市教育委員会、滝沢南中学校のご指導、ご協力を得て、6月1日（金）に及川氏を講師としてニュージーランドスタイルの授業を行いました。その内容、生徒の感想の概要を報告します。

ニュージーランドという国について、そして、日本とニュージーランドの教育制度の違いについて生徒に紹介、質問をし、また意見を聞きながら、発言をした生徒を褒め続ける授業でした。

生徒は、自らが考えること、そして思ったことや意見をそのままに自由に発表する喜びを感じていたように思います。「自分で考え、自分で手を挙げるのがこんなに楽しく理解の深まる授業になる。」と感想を述べた生徒もいます。

ニュージーランドではタブレットなどを使用して授業を受けること、授業中はいつでも発言して良く発言するとほめられること、生徒によって授業時間割が違うこと、部活は週3回で掛け持ちができること、宿題が少ないこと、ティータイムがあること、先生は授業を途中で終わらせてまとめをしないで生徒に考えさせることなどに驚き、ニュージーランドの教育は楽しそうだと感じたようです。



どんなときにも手を挙げて自分の意見、考えを述べることを大切にしたい、自ら調べ、自ら考えることを大切にしたい、いろいろな国に興味を持って視野を広げていきたい。生徒の抱負です。

## 滝沢市で学び、 生活する。

インド出身、岩手県立大学ソフトウェア情報学  
研究科大学院生の **DAS SUBHAJOTYI** (ダス シュブホ ジョティ) さんにインタビューしました。

### 日本の第一印象はどうでしたか？

クリーンでシスティマティック、人はとても優しく親切でした。新幹線の速さには驚きました。

### 県立大を選んだ理由、卒業後の計画は？

岩手県立大学の教授が私を博士課程の学生として受け入れてくれました。機械学習（テキストマイニング）を専攻しています。大学院修了後はキャリアアップを図るため、日本にとどまり日本のソフトウェア会社で働くことが希望です。

### 日常生活はどうですか？

最初は日本語が話せなかったのが大変でした。盛岡到着時は、交番の警察官が大学に電話してくれましたし、食品は見て分かるものだけしか買うことができませんでした。

じゃじゃ麺がとても好きです。味噌味が大好きで大学で昼食を摂る時はいつも味噌汁を飲みます。寿司や刺し身などのなま物は苦手です。生活は、滝沢駅近く引っ越してからは近くに小さなスーパーもあり大変楽になりました。イベントがとても好きで、今年も、さんさ踊りに参加します。

休日に県立大近隣に人が少なく、また、学生が交流・活動する場がほとんどないのが残念です。



## お知らせ

### 外国語絵本の寄贈

巢子在住の角館様より、外国語絵本 70 冊の寄贈を受けました。英語、スペイン語、中国語など多く言語の美しい絵本があります。滝沢ふるさと交流館 2F、生涯学習情報室に設置してあります。ご利用下さい。

### スペイン語会話講座

スペイン語会話講座を開催中です。7月4日～8月29日まで全8回、毎週水曜日に滝沢ふるさと交流館で開催しています。職業、年齢を超えて、皆さんがスペイン語会話を楽しんでいます。

### 中上級英会話講座

中上級英会話講座を開講します。多数のご参加をお待ちしています。

講師：アンハー スーザン先生

日時：2018年10月1日～12月10日、18:00～19:30(月曜日、全8回)(10/8,11/19,11/26は休み)

場所：葉の木沢山活動センター 2F集会室

定員：20名 \*定員になり次第締め切ります。

対象：中学生以上ならどなたでも受講できます。

受講料など詳細は下記にお問合せ下さい。

### ハングル入門講座

挨拶や自己紹介の言い方から始めます。

講師：崔 宰誠 (チェ ジェ ソン) 先生

日時：2018年10月12日～12月7日、19:00～20:30(毎週金曜日、全8回、11/23は休み)

場所：滝沢ふるさと交流館 2F研修室

定員：20名 \*定員になり次第締め切ります。

対象：中学生以上ならどなたでも受講できます。

受講料など詳細は下記にお問合せ下さい。

### 国際交流フェスティバルボランティア募集

本誌 1 ページで紹介しました国際交流フェスティバルでボランティア活動をして下さる方を募集しています。応募は当協会ホームページより「参加申込書」をダウンロードして必要事項を記載し、下記に FAX またはメールで送信して下さい。

## 今後の事業について

### ※国際理解講座

滝沢市教育委員会主催の「国際理解講座」に、3名の講師を派遣する予定になっています。講座は以下の日程で、滝沢ふるさと交流館で開催されます。10月25日(木)にオランダ、11月1日(木)にフィリピン、11月8日(木)に中国について紹介予定です。詳細は、別途お知らせします。

### ※ニュージーランドクライスト・カレッジ 高校ラグビーチームとの交流

(公財)岩手県国際交流協会、岩手県ラグビーワールドカップ 2019 推進室、滝沢市生涯学習スポーツ課、岩手県盛岡農業高等学校のご支援により、10月4日(木)に、上記高校ラグビーチームとの交流を計画しています。詳細は、実施内容が決まり次第お知らせします。

## 会 員 募 集

- ※ 滝沢市国際交流協会の活動に積極的に参加していただける会員を募集しています。
- ※ 会員の特典
  - ◎情報誌をお届けします。
  - ◎当協会主催の催し物の案内をお届けします。
  - ◎当協会主催の語学講座等に割引料金でご参加いただけます。
- ※ 年会費：個人会員 2,000 円(大学生は 1,000 円)  
家族会員 3,000 円、団体・法人一口 5,000 円
- ※ 申し込みは、当協会ホームページより「入会申込書」をダウンロードし FAX またはメールでお願いします。

### 賛助会員 (50 音順)

協栄テックス株式会社、公立大学法人岩手県立大学、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家、南館歯科・小児歯科医院、有限会社機興社

### 問い合わせ先：

滝沢市国際交流協会 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼 55 番地

滝沢市教育委員会生涯学習スポーツ課内

TEL : 019-643-6591 FAX 019-687-6312 Mail: yokakko@poplar.ocn.ne.jp